

みずほCustomer Desk Report 2023/07/27号(As of 2023/07/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	141.09
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	140.90	1.1052	155.73	1.2894	0.6787
SYD-NY High	141.18	1.1106	155.97	1.2960	0.6793
SYD-NY Low	139.94	1.1038	155.17	1.2878	0.6730
NY 5:00 PM	140.25	1.1086	155.55	1.2940	0.6760
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,520.12	82.05	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	14,127.28	▲ 17.27	日本10年債	0.4400%	▲0.0200%
S&P	4,566.75	▲ 0.71	米国2年債	4.8485%	▲0.0281%
日経平均	32,668.34	▲ 14.17	米国5年債	4.1146%	▲0.0521%
TOPIX	2,283.09	▲ 2.29	米国10年債	3.8717%	▲0.0177%
シカゴ日経先物	32,575.00	▲ 65.00	独10年債	2.4525%	0.0530%
ロンドンFT	7,676.89	▲ 14.91	英10年債	4.2745%	0.0110%
DAX	16,131.46	▲ 80.13	豪10年債	3.9940%	▲0.0070%
ハンセン指数	19,365.14	▲ 69.26	USDJPY 1M Vol	11.46%	0.38%
上海総合	3,223.03	▲ 8.49	USDJPY 3M Vol	10.21%	0.15%
NY金	1,970.10	6.40	USDJPY 6M Vol	9.75%	0.10%
WTI	78.78	▲ 0.85	USDJPY 1M 25RR	▲1.91%	Yen Call Over
CRB指数	280.87	▲ 1.02	EURJPY 3M Vol	10.08%	0.23%
ドルインデックス	100.89	▲ 0.46	EURJPY 6M Vol	9.76%	0.07%

東京	東京時間のドル円は140.90レベルでオープン。前日比マイナス圏で寄り付いた日本株がプラス圏へ浮上する動きにドル円も141円台を回復。141.18まで上昇したものの、終盤にかけてクロス円の下落や米金利の低下が重しとなり140.66まで下落し、140.71レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.71レベルでオープン。午後にFOMCを控える中、米10年債利回りやクロス円の下落を背景に140.18まで売られる。その後もみ合いを経て、結局140.39レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台後半でスタート。豪州第2四半期CPIの伸びが予想より鈍化している内容や、FOMCの結果発表前のポジション調整の動きから、140.30付近まで下落する。その後は様子見ムードが強まり、140.39レベルでNYオープン。午前中に発表された米6月新築住宅販売件数は予想を下回るも、影響薄。その後米金利上昇に反応し、140.55まで上昇する。午後に発表された注目のFOMCでは予想通り25bpの利上げが発表され、140.70まで上げ幅を広げる。続いて行われたパウエルFRB議長の記者会見の冒頭では、「FOMC、将来の利上げはデータ重視アプローチで」「1会合おきに利上げするとの決定はしていない」等の想定範囲内の発言を受けドル売りとなり、140台を割り込み、139.94まで売られる。しかしその後、「2%インフレ、2025年頃まで達成しないだろう」との発言に米金利が再度上昇する展開につられ140.20台まで戻し、140.25レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台半ばでスタート。欧州株安を背景に、1.1040近辺まで下落するも、その後独金利が上昇する展開を眺めながら、1.1086まで反発するも失速し、1.1063レベルでNYオープン。午前中は1.1070付近を挟んだ値動きが続く。午後は先述のFOMCの内容を受け、ドルが売られる中、1.1106まで上伸する。ドル売り一巡後は、小幅反落し、1.1086レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木

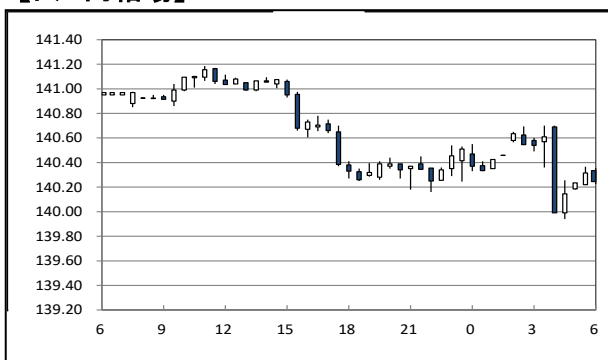
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月26日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	2Q 0.8%/6.0%	1.0%/6.2%
	14:00	日 景気一致指数・確報	5月 114.3	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 697k	725k
7月27日	03:00	米 FOMC政策金利	26-Jul 5.25%-5.50%	5.25%-5.50%
	03:30	米 パウエルFRB議長発言	「将来の利上げはデータ次第」	

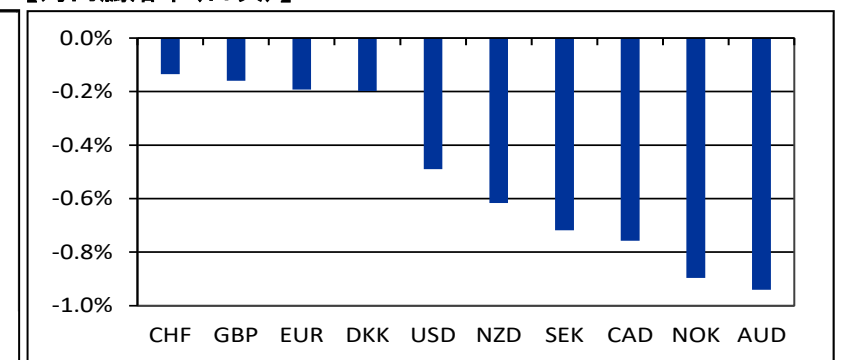
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月27日	21:15	欧 ECB主要政策金利	27-Jul 4.25%	4.00%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q A 1.8%	2.0%
	21:30	米 個人消費	2Q A 1.2%	4.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	6月 1.3%	1.8%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	6月 0.1%	0.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	22-Jul 235k	228k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.50-141.50	1.1000-1.1200	154.80-156.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はFOMCの結果を受けて下落。140円台後半で取引開始後、豪州 2Q CPIが予想比下振れたことやFOMCを控えたポジション調整により140円台前半まで下落。注目されたFOMCでは市場予想通り25bp利上げを決定。パウエル議長による会見では「今後の利上げはデータ次第」と慎重な姿勢を示したことで139.94まで売られた。その後、「2%インフレ、2025年頃まで達成しないだろう」との発言に米金利が上昇すると値を戻し、140.25でクローズした。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。FOMCを経て、FEDがややハト派寄りのスタンスであるとの認識が広がった。本日はECBを控えているものの、25bp利上げが織り込まれておりドル円への影響は限定的か。市場の関心は翌日の日銀金融政策決定会合に移っている。日銀関連のヘッドラインには神経質な反応が予想されるため、注意が必要だろう。